



共創による新しい価値の創造

HANNAN

SDGs未来都市

阪南市 SDGs未来都市 シンポジウム

共創による新しい地域価値の創造
カーボンニュートラルの先にあるCo-ベネフィット型未来都市に向けて

日時 2023年 **3月4日(土)**
13時～16時(12時10分開場)

場所 サラダホール 大ホール

定員
500名
無料

先着200人に
金芽米等をプレゼント!
その他にも参加者には
記念品を進呈します。

第1部

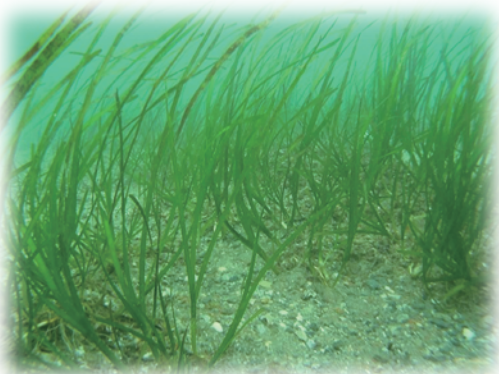
- 挨拶 阪南市長 水野謙二
- 地方創生SDGs達成への取組
内閣府地方創生推進室 参事官補佐
宮里 潤氏
- 基調講演
「人生の目的、ライフビジョンの大切さ」
アデコ(株)・Modis(株)代表取締役社長
川崎健一郎氏
シンガーソングライター
♪ むんむさんによる生歌 ♪



休耕田を活用したお茶畑

第2部

- 市内におけるSDGs実践事例の紹介
株式会社伊藤園 執行役員 マーケティング本部長 志田光正氏
株式会社漁師鮮度 代表取締役社長 岩井克巳氏
株式会社青木松風庵 代表取締役社長 青木一郎氏
株式会社和紙の布 代表取締役社長 阿部正登氏
- パネルディスカッション
和歌山大学 システム工学部 教授 吉田 登氏
神戸大学客員教授、横浜国立大学客員教授 信時正人氏
- 海洋教育実践校の取組について



アマモ場の再生

※第1部、第2部ともに、手話通訳を行います。

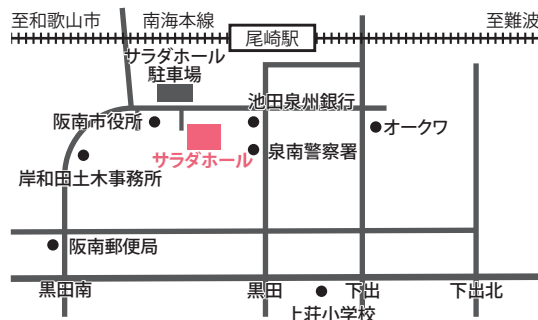
ホワイエで物産展、小ホールでSDGs展示等を行います!

- ホワイエにて、市内産の農産物・加工品等の販売を行います。
- 小ホールにて、SDGsに取り組む市内企業の紹介やSDGsのことを分かりやすく理解するための絵本の展示、親子で一緒に遊んで学べるカードゲーム「ゲット・ザ・ポイント」の体験コーナー等を設置します。



お子様と
一緒に
来てね!

会場案内図



お問い合わせ

阪南市 未来創生部 シティプロモーション推進課
TEL 072(489)4510

■基調講演

川崎 健一郎 氏

1976年生まれ、東京都出身。1999年、青山学院大学理工学部を卒業後、株式会社ベンチャーセーフネット（その後株式会社VSNへ社名変更、現Modis株式会社）入社。2003年に事業部長としてIT事業部を立ち上げる。常務取締役、専務取締役を経て、2010年に同社の代表取締役社長兼CEOに就任。2012年、同社のAdecco Group入りに伴い、アデコ株式会社の取締役役に就任。2014年にアデコ（株）の代表取締役社長に就任。現在はアデコ（株）代表取締役社長のほか、Modis（株）代表取締役社長、Head of Modis North APACを務める。2020年6月に、人材派遣事業者による団体である一般社団法人 日本人材派遣協会の副会長に就任。2022年6月には同協会の会長に就任した。



■市内におけるSDGs実践事例の紹介

志田 光正 氏

1998年4月（株）伊藤園入社。
2004年マーケティング本部商品企画一部に配属後、お〜いお茶商品企画、紅茶ブランドTEAS'TEA商品企画、健康ミネラルむぎ茶商品企画を担当。
2019年5月マーケティング本部本部長、2022年5月執行役員に就任。



岩井 克巳 氏

1988年日本ミクニヤ（株）入社。2016年より大阪府初の本格的な牡蠣養殖、漁協直営「波有手のカキ小屋」運営をサポート。2021年に西鳥取漁協と日本ミクニヤホールディングス（株）が共同出資する（株）漁師鮮度を設立し、カキ事業を承継。人々が集う「豊かな海」を守り育てる活動を行っている。



青木 一郎 氏

2005年大学卒業後、（株）青木松風庵に取締役として入社。（株）ハタダへ出向。
2009年（株）天平庵常務取締役役に就任（兼任）。2014年4月より青木松風庵・天平庵代表取締役社長に就任。
2017年株式会社青木ホールディングスを設立、代表取締役社長に就任。



阿部 正登 氏

1957年泉佐野市出身。1985年に家業の織布工場を継ぎ2代目となる。2001年和紙の布開発に着手。2007年和紙の布協議会設立。2008年（株）和紙の布を設立。泉州ビジネスプラン大賞受賞。
2013年間伐・間伐材利用コンクール林野庁長官賞受賞。



■パネルディスカッション（上記の講演者・発表者も登壇します）

吉田 登 氏

大阪大学工学部環境工学科卒業後、建設コンサルタント、大阪大学講師等を経て、2011年より和歌山大学システム工学部教授。研究テーマは地球環境変化に対応する産業社会システムのエコ・リストラクチャリングなど。環境保全を地域経済へ内在化する施策の効果検証などに取り組んでいる。



信時 正人 氏

東京大学都市工学科卒業後、三菱商事株式会社、（財）2005年日本国際博覧会協会政府出展企画催事室長、東京大学大学院特任教授、横浜市都市経営局都市経営戦略担当理事、温暖化対策統括本部長等を歴任。
2018年よりヨコハマSDGsデザインセンターのセンター長を務める。



■阪南市SDGsのロゴマーク

阪南市がSDGs達成のために、地域資源を活かしたカーボンニュートラルの取組として、その中心となるお茶とアマモがモチーフとなっています。多くの人々が関わり、阪南市の自然や文化、未来に向けた新たな取り組みを地域の人々で支え、繋がり、守り続けていく。人々が協力し地域や自然を守る姿と、未来への希望を表現しています。



共創による新しい価値の創造

HANNAN

SDGs未来都市

SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業について

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。

国においては、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けた取組の推進に当たり、SDGsの理念を取り込むことで、政策の全体最適化、地域課題解決の加速化という相乗効果が期待できるため、SDGsを原動力とした地方創生SDGsを推進しています。そのなかで、優れたSDGsの取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」として選定し、その中で特に優れた先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として選定して支援しており、**阪南市は、令和4年5月に、「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」の両方に選定**されました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

